

ビタミンB<sub>1</sub>の摂取構成は、米が36.5%、野菜・果実21.1%、畜産食品16.3%、魚介類6.7%となっている。

図-24 ビタミンAの食品群別摂取構成

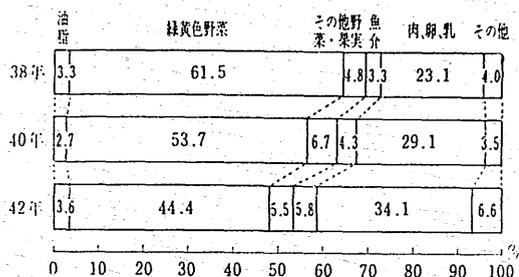
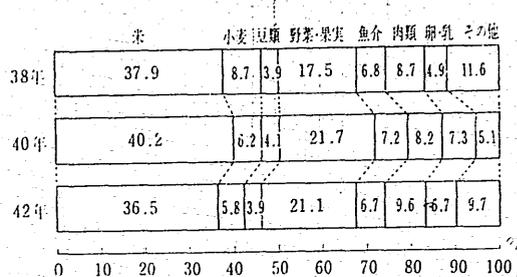


図-25 ビタミンB<sub>1</sub>の食品群別摂取構成



7. ビタミンB<sub>2</sub>

ビタミンB<sub>2</sub>は、野菜・果実類から19.4%、魚介類15.9%、乳・乳製品14.8%、卵13.6%、米10.2%と各食品群から比較的平均して摂取している。

8. ビタミンC

ビタミンCの主たる給源は野菜と果実類であり、その内訳はその他の野菜が37.9%、果実29.2%、緑黄色野菜24.0%となっている。

図-26 ビタミンB<sub>2</sub>の食品群別摂取構成

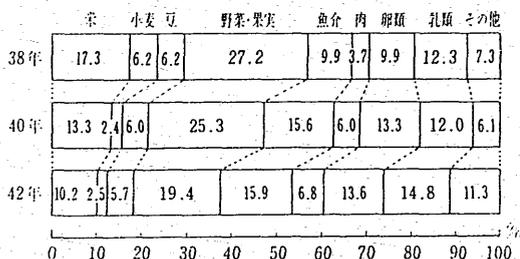
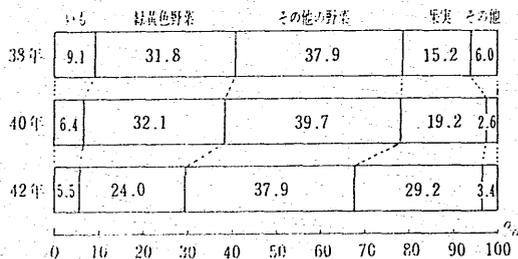


図-27 ビタミンCの食品群別摂取構成



D 食 材 料 費

国民栄養調査でいう食材料費とは、摂取した全食品量について、購入、自家生産、もらいもの等の別を問わずすべて市場価格に換算して1人1日当りの平均として計上したものである。

1. 全国平均食材料費

昭和42年度の全国平均1人1日当り食材料費は262.81円である。

構成比をみると図-28のとおり、主食としての穀類が22.3%、副食としては動物性食品30.6%、その他の副食47.1%となっている。

この10年間における食材料費の推移をみると図-29のとおりである。

2. 世帯業態別食材料費

昭和42年度の食材料費を業態別にみると図-30のとおり農家世帯は218.49円（うち、動物性食品は55.94円）、非農家世帯は280.85円（うち、動物性食品90.44円）となっている。

図-28 食材料費の構成比  
(世帯業態別)

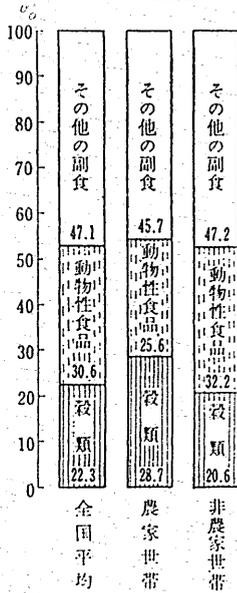
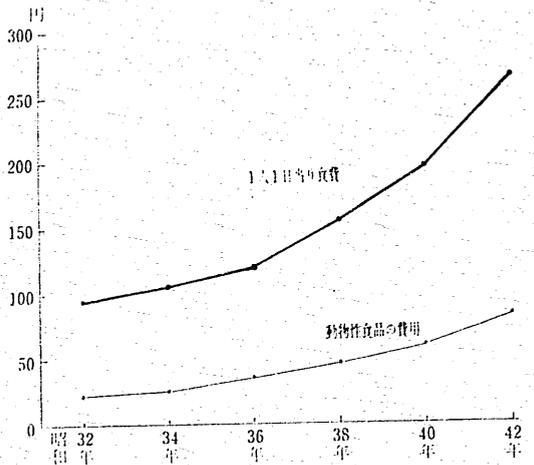


図-29 1人1日当り食材料費の推移(全国平均)



また、世帯業態を細分した結果についてみると図-32のとおり最高は自営業者世帯の288.20円であり、次いで常用勤労者世帯の283.09円、その他の兼業農家世帯242.26円となっている。

なお、構成比は図-33のとおりである。

図-30 食材料費の比較(世帯業態別)

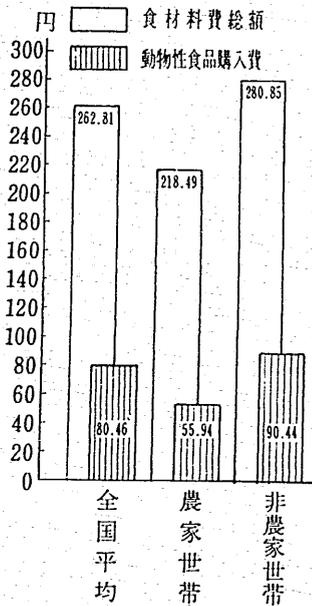
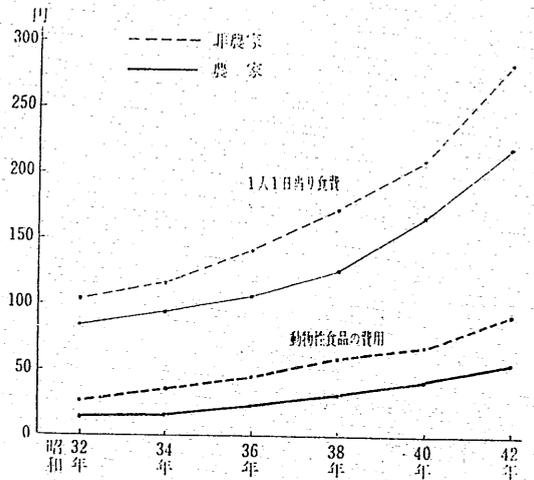
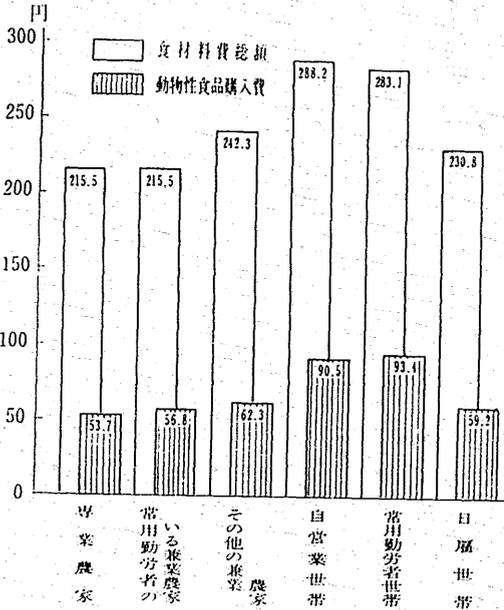


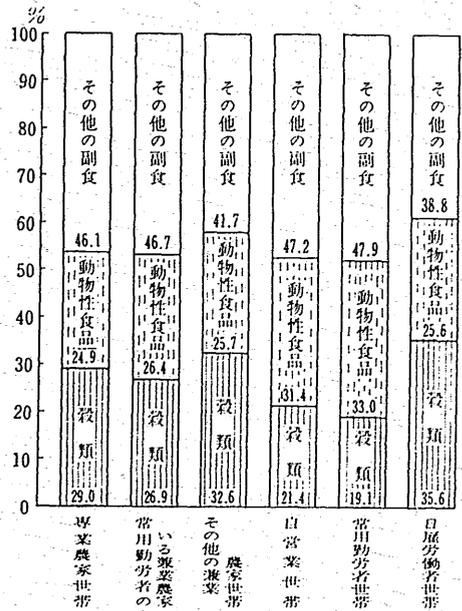
図-31 食材料費の推移(農家・非農家別)



図一32 食材料費の比較(世帯業態別)



図一33 食材料費の構成比率(世帯業態別)



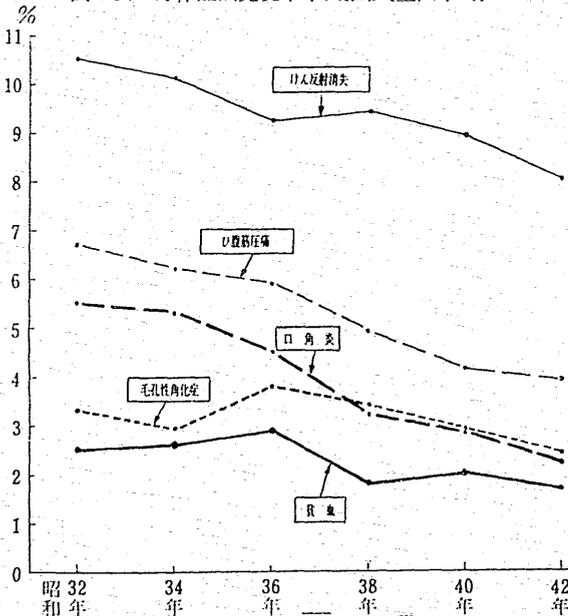
## E 身体状況

### 1. 身体症候の発現

昭和42年度における国民の栄養欠陥に関係があると考えられる身体症候の発現率(有症者の割合)は16.8%である。

性別の発現状況を見ると男子13.1%, 女子19.9%であり, 従前同様に女子の発現率が男子を上回っている。

図一34 身体症候発現率年次推移(全国平均)



図一35 身体症候発現率(年齢階級別)

